



## 南那珂地区中学校総合体育大会

右は、壮行式の選手宣誓の様子。キャプテンが、戦いの覚悟や感謝を堂々と宣言。圧巻でした。

吾田プライド！

6月7日、8日、雨天順延で9日、10日、陸上競技の14日と複数日をまたぎ、16の部活動が戦いを終えました。保護者やご家族の皆様、多くのご声援、ご理解とご協力をありがとうございました。外部指導者の皆様や部活動指導員の皆様にはいつも温かいご指導を賜り心から感謝申し上げます。

私は、バドミントン競技の担当として二日間串間市民体育館にいました。生徒たちの真剣なまなざし、緊張や不安、喜びや感動など、心の鐘を鳴らす様子を見ながら、改めて、挑戦が成長のチャンスであることを感じました。

熱戦の中では、大逆転勝利、悲願の勝利などがあった一方、もう少しのところで涙をのお場面もありました。どの部の生徒であっても、うまくいくことだけではなかったと思います。引き分けのない勝敗の確率はきっちり50%。勝つか負けるかしかりません。どのように勝ち、どのように負けたか。何を学び、生き方にどう活かすか。未来に向けて進むことを期待します。県大会の切符を手に入れた皆さんは、ライバルとして戦った相手に敬意をもち、地区代表として清々しい戦いに臨むことを期待します。

### 団体戦

[サッカー部] 優勝 [男子ソフトテニス部] 優勝 [女子ソフトテニス部] 優勝 [男子バドミントン部] 準優勝  
 [女子バドミントン部] 惜敗 [男子バスケットボール部] 優勝 [女子バスケットボール部] 優勝  
 [男子卓球部] 優勝 [女子卓球部] 準優勝 [男子バレーボール部] 優勝 [女子バレーボール部] 準優勝  
 [男子剣道部] 優勝 [女子剣道部] 優勝 [水泳部] 優勝 [野球部] 惜敗 [弓道部] 惜敗  
 [陸上部] 男女とも準優勝

### 個人戦

うれしい悲鳴ではありますが、入賞者の人数が多く、全員の名前が記載できないことが残念！申し訳ありません。ただ、この人数は単なる数ではなく、生徒一人一人の栄光であることに間違いありません。

[男子ソフトテニス部] 優勝ペア含む3ペア6名 [女子ソフトテニス部] 2ペア4名 [男子バドミントン部] 1名  
 [男子卓球部] 3名 [男子剣道部] 優勝含む3名 [女子剣道部] 優勝含む3名 [水泳部] 優勝含む8名  
 [陸上部] 優勝含む26名 計54名が、それぞれ県大会出場の切符を手に入れました。

そして・・・吾田中から県大会に挑戦する登録生徒は **12競技141名** 陸の王者、真の王者を目指す！

## 挑戦する吾田中:コンクール入賞!そして NHK 合唱コンクールに向かって

様々な成績を残している生徒たち。文化部も頑張っています。

### 〔美術部〕

南那珂地区愛鳥作品コンクール 中学生の部

金賞 2年生 土田来歩さん

銀賞 3年生 安田汐里さん

銅賞 2年生 倉元杏莉さん

### 〔Nコン合唱団〕

NHK 合唱コンクール出場

音楽科の後藤先生と柳瀬先生の指導のもと、始動!早朝、北校舎に響く歌声は癒やし。

3年生:18名 2年生:11名 1年生:1名  
男子パート13名 女子パート17名

30名の♡常夏合唱部!響くハーモニー♪

## 学校運営協議会

6月19日(木)第1回学校運営協議会

6名の委員の皆様です。

会長 田端 功 様 前あがたまちづくり協議会会長

副会長 福田順一様 中央区自治会長

委員 崎田友子様 民生委員・児童委員

島中みゆき様 元PTA会長

西 圭字 様 前PTA会長

田中洋平様 現PTA会長



学校経営ビジョンの承認、吾田中の生徒たちに求めること、地域や学校の困りごとなどに対して、様々な見識からご意見をいただきました。一言で言えば吾田中応援団!学校への期待を感じます。

生徒たちの気持ちよい挨拶や靴箱や自転車小屋の整理整頓などが引き継がれていることへのお褒めの言葉(これまで踏ん張ってくださった全ての方に感謝)。

○未来を生きる子どもたちに必要な力や学校で育てたい力。

→自分の考えを持ち、言霊を意識して伝える力、話を聞く力、当たり前感謝する力。○大切なこと。→子どもの気持ちを聞きながら、家庭と地域と学校と一緒に子どもの居場所を考えること。挑戦して学びを得ること(そう、Nコン合唱団も先生と生徒の挑戦ですね)。

このような活発な意見交換。私が掲げる学校経営ビジョンに関わりの深い事柄が多く、同じ方向に向かって成長を目指せると実感。最後に地域や学校の困り事については、各自の人脈や得意分野から解決策を考えました。実行にはまだハードルがありますが手応えはあり。今後も、吾田中学校は、学校と地域や保護者の連携をとおして、生徒たちのためになることを進めて参ります。



放課後。雨のあがった自転車小屋に、誰かが落としたゴミ袋。朝は役目があったのでしょう。ある生徒が、ビニール袋を拾い上げ、友だちに「これ、置いてあってもゴミになるだけだしね。私が持って帰って捨てるわ。」と言っている姿を偶然見かけました。もちろん、私の姿は本人には見えていません。吾田中には「考えて、挑戦できる」生徒がたくさんいます。